

### 地域に根ざした コミュニティーチャンネル

**JCV** 上越ケーブルビジョン株式会社

代表取締役社長 大島 精次  
〒943-8522 上越市西城町2-2-27  
TEL (025) 526-2111 FAX (025) 524-0453  
URL <http://www.jcv.co.jp/>

業 種：放送・通信  
資 本 金：4億8,000万円  
事業内容：テレビ放送及び通信  
インターネット接続サービス

「エリアレポート」「JCVスペシャル」「ポテトおいしい60分」などの番組を通し、様々な切り口で上越地区の情報を提供する上越ケーブルビジョン。「上越の風を感じる番組を作りたい。住んでいるからこそ分かる良さを伝えていきたい」と大島社長は言う。地域に根ざした放送局だからこそ可能なコミュニティー番組がこの場所から発信される。

#### コミュニティー番組は市民の応援団

上越ケーブルビジョン(JCV)は、上越市、新井市、板倉町、大湊町、頸城村などの約60,000世帯で受信可能。平成18年8月現在では、約36,700世帯が加入している。

地元に着目した放送局JCVの最大の特徴は、やはり充実した地域の情報を提供する9チャンネルの自主放送。上越地区のニュースからイベント、講演会など様々な情報をたっぷり放送する。情報は視聴者からの提供も多く、身近な出来事や話題、新鮮な情報を毎日得ることができる。そのほか、11チャンネルでは市議会中継や関川河川情報、火災や災害時には緊急情報を見ることができ、12チャンネルの「お天気チャンネル」では、上越の各地区ごとの天気予報が詳しく表示されている。



◀ 各家庭のアンテナの代わりに電波を受信する巨大なアンテナ。夜にはライトアップされる

#### 雪国ならではのケーブルテレビ

雪国では、雪の重みなどでアンテナが曲がり、画像が乱れたり雑音が入ったりすることがしばしば。しかし、ケーブルテレビ放送は、銅線の入った同軸ケーブルに信号を走らせて放送を送っているため、各家庭ではテレビのアンテナは不要。つまり、雪による心配も潮風による錆び付きの心配もする必要はなく、豪雪地帯や海岸に近い地域にとって最適なシステムといえる。また、ケーブルテレビ網を利用した高速インターネットも使用できる。



▲約100人収容できるスタジオ。公開放送もできる

#### 子供たちの夢をかなえる放送センター

平成14年7月に新設したJCVの放送センターは見学も可能。スタッフの丁寧な説明を受けながら、収録スタジオや編集室、時間によっては収録風景も見ることができ、年間2,000人もの中小学生が見学に来ている。「見学に来た子供達が『将来はこんな放送局で働きたい』と夢をもてるような放送局でありたい」（大島社長）。JCVは子供達の夢をかなえる地域の放送局としての役割も担っている。



▲調整室。本番中はピンと張り詰めた緊張感が伝わってくる